

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2024年 2月28日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	苫小牧港開発株式会社
所在地	〒053-0003 北海道苫小牧市入船町2丁目9番15号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 関根久修
担当者連絡先	電話：0144-33-1131 メール：somu-koho@tomakai.com
ウェブサイトURL	https://www.tomakai.com/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

当社は1958年(昭和33年)の創業以来、苫小牧臨海工業地帯の造成分譲事業や石炭荷役事業等の様々な事業を推進し、現在は主に苫小牧西港フェリーターミナルの運営事業や苫小牧西港周辺(苫小牧西部工業基地)における不動産事業(分譲・賃貸等)を行っている。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	フェリーターミナル利用の旅客・物流における信頼性の維持・向上	将来の旅客・物流ニーズに適したシステム・サービスの改良、定時運航を支える継続的な施設等の整備・安全作業・BCP対応の徹底を目指す
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	全ての人が快適に利用できる施設の提供	フェリーターミナル及び関連施設のバリアフリー化の進展等を通じたユニバーサルツーリズム確立への貢献 2025年：1・3号人道橋改修予定 2026年：3号歩道橋改修予定
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	温室効果ガス(CO ₂)排出量削減	社有地での太陽光発電事業を展開し、自社の脱炭素化を進め、当社全体におけるCO ₂ 排出量を2030年度において、2013年度比約80%削減を目指す 【現状】64%削減 ※2020年度実績 【目標】80%削減

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	行政における事業系廃棄物の分類に従い、資源物(ビン・缶、プラスチック、ペットボトルなど)、古紙類、一般廃棄物、産業廃棄物に適切な分別を実施している。また、収集運搬許可業者を通じた処理を実施している。										11.6	12.4 12.5		14.1				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	自社の主要拠点(本社・フェリーターミナル)におけるエネルギー使用量を把握している。なお、本社は2018年の建替時に利用エネルギーの見直しや高効率化を図り、フェリーターミナルは照明設備のLED化の推進等を進めている。また、本社ビルについて、㈱日本政策投資銀行「DBJ Green Building 認証 2020」を取得している。						7.3						13					
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	自社の主要拠点(本社・フェリーターミナル)における温室効果ガス排出量を把握している。なお、排出量の削減策(脱炭素化に向けた施策)として、①再生可能エネルギーを軸とした排出量の低減、②地域脱炭素化に向けた面的な連携・貢献の2つを軸として各種取り組みを進めている。また、主要拠点毎にソフト面での日常的な節電・省エネ対策の取組を継続している。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3				11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	CSR活動の一つとして、社有地における植樹活動を継続的に開催しており、植樹周辺環境の生物多様性に配慮した苗木の選定等、自然環境保全に努めている。						6.6								15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	フェリーターミナル館内のトイレ改修にあたり、節水型機器(便器等)を導入し、水資源の利用効率改善に取り組んでいる。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	「環境に関する基本方針」のほか、「サステナビリティ経営方針」、「脱炭素化の推進に関する取組の方向性」を策定のうえ、HPにて情報開示している。											12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	フェリーターミナル屋上(売電)並びに関連建物(自社利用)に太陽光パネルを設置しているほか、社有地の一部を太陽光パネル設置(メガソーラー)用地として賃貸している。また、脱炭素化に向けた施策の一つとして、社有地における再生可能エネルギー(太陽光発電等)の運用検討を進めている。							7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	社内広報誌・会社概要・カレンダー等の製作物に関して、植物インク・ペーパーリング(カレンダー)等の環境に配慮した天然資源による素材を活用している。											12.2	13	14	15			

